

## ママとパパの家事・育児時間、日本の格差

### ■日本のパパは、一番やっていない！？

右のグラフは6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事時間の国際比較です。

ママの一日の平均家事育児時間は7時間34分。国際的な比較では、家事時間の男女格差が最も大きなのが日本です。共稼ぎママが雇用者世帯の3分の2となっている現在、ママは睡眠時間を削って家事育児に奔走しています。

でも、すてっぷの講演会に参加したパパの本音からは、「もっと家事・育児したい」という声もあるのに、どうしてでしょうか。

### ■原因の一つが「男性の長時間労働」

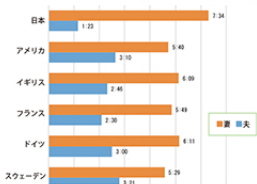
日本は「固定的性別役割分担」の意識が強く、男性は仕事、女性は家事と考えがちです。そのため、男性の多くは「大黒柱だから」「残業も仕方ない」と、働きます。

男性の長時間労働が当たり前である限り、パパはやりたくても家事・育児ができません。そして、長時間労働が当たり前の社会では、ママも安心して働き続けることができません。

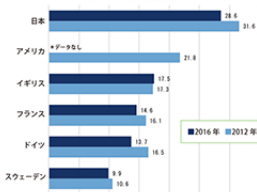
### ■働き方改革やイクボス宣言はチャンス

長時間労働は社会課題の一つです。ママやパパ、一人の努力で解決できることではありません。育児だけではなく、介護も同じです。誰もが、いつかは「働き方」に直面します。柔軟な働き方が選べるように、社会も変わっていく必要があるのです。

■6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児時間／1日あたり（時間）  
（男女共同参画白書令和元年版より）



■週49時間以上働く男性就業者の割合 (%)  
（データブック国際労働比較2018より作成）



599/7

BOOK

### 『家族を笑顔にする パパ入門ガイド』

ファザーリング ジャパン / 著 (池田書店)

これから子どもが生まれるパパや子育てが始まったばかりのパパの「どうしよう…」に応える入門書。ママとのコミュニケーション、おむつ替えや離乳食作り、仕事との両立など、パパ育児のノウハウが詰まっています。

限られた育児の期間を逃すのはもったいない！笑顔のパパになればきっと家族も笑顔になります。